

2. ごみ 廃棄物 プログラム ⑯

室 内

分けたらどうなる？ごみの分別

ねらい

ごみの分別やごみの行き先について学び、分別の理由や必要性、ごみがどう処分されているのかに気づき、資源化やごみを減らすために私たちができる行動について考える。

問い合わせの例

ごみをなぜ分けるのかについて、問い合わせを行う。

- 普段はごみをどのように出していますか？
- 自分たちの地域では、ごみをいくつに分けていますか？なぜ分けていると思いますか？

ご
み

手 順	内 容
導 入	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者に「問い合わせ」を投げかける。
展 開	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者をグループに分ける。 ・ごみイラストを使ってごみを分ける。 ・ワークシート①に、分けた数と分けた理由を書く。 ・ワークシート①に、家から出るごみについてごみの行き先を書く。 ・分けた数と分けた理由、分けたごみがどこに行くのかを発表する。 ・ワークシート②③を配布する。
振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート②を用い、振り返りを行う。 ・プログラムを経験して、私たちができるを考え、意見・感想を聞く。

準備するもの (☑で確認)	<input type="checkbox"/> ワークシート①～③（コピー） <input type="checkbox"/> 筆記用具 <input type="checkbox"/> 地域のごみイラスト（事前に作成）
------------------	--

ワークシート①

(コピーして使って下さい)

いくつに分ける？どう分ける？

- 配られたごみイラストを使って、ごみを分別してみよう。



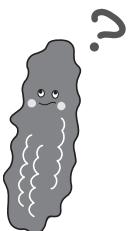
ごみイラスト例 出典：経済産業省ウェブサイト

(<https://www.meti.go.jp/policy/recycle/main/data/illust/index.html>)

- イラストをいくつに分けた？ _____ 種類に分けた。

- どのような基準で分けた？

ごみのゆくえが2つ以上ある時は、それぞれ書いてみよう。



- 家から出るごみのゆくえを考えてみよう。



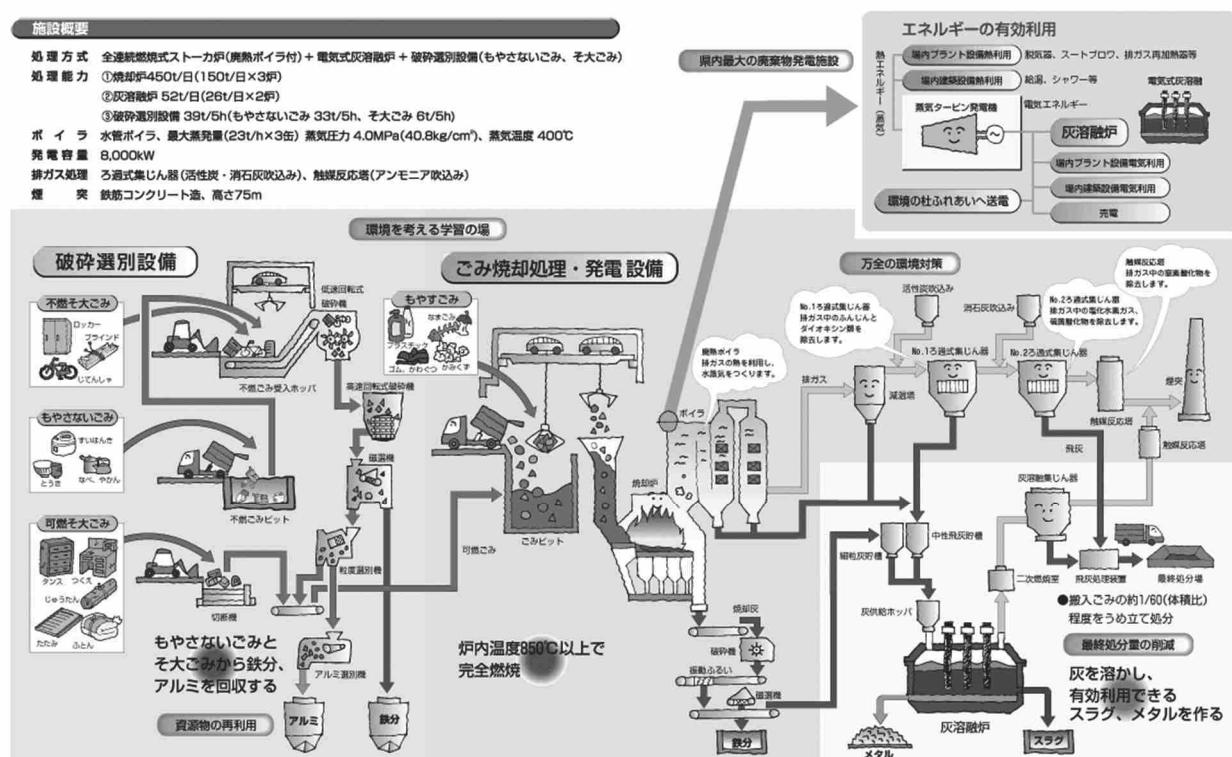
埋め立て

ワークシート②

(コピーして使って下さい)

那覇市・南風原町環境施設組合のごみ処理の流れ

家から出たごみは、「燃やすごみ」「燃やさないごみ」「資源ごみ」の大きく3つに分けられますが、焼却灰と燃やさないごみなどは、埋め立てられることになります。



振り返り

なぜ、ごみを分別すると思いますか？

ごみの問題に対して、私たちにできることは何がありますか？

やってみよう

- 「市町村名+ごみ分別」で検索して、自分の住んでいる市町村のごみ分別表を調べてみよう。
- 分別したごみがそれぞれどのように処分されているか、調べてみよう。
- 地域にある、ごみに関する施設の見学に行ってみよう。

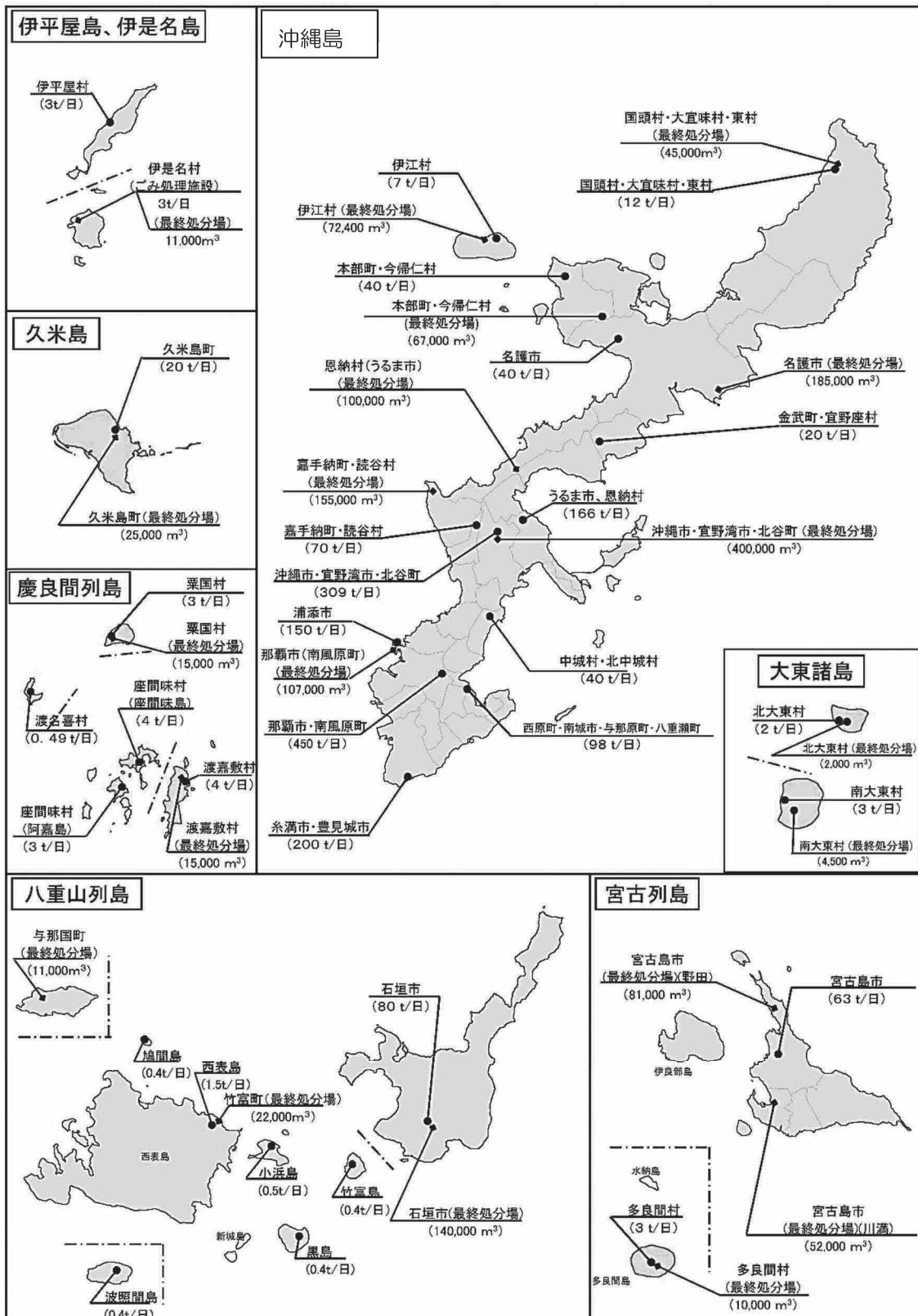
ワークシート③

(コピーして使って下さい)

沖縄県内にある主なごみ処理施設

ご
み

沖縄県内には、ごみ焼却施設が32施設、最終処分場が20施設整備されている。



出典：廃棄物対策の概要（沖縄県環境政策課、2018年）

講師用資料①

ワークシート①回答例

<ポイント>

- ・ごみイラストを分別する時の、分けた基準を考えさせる。
- ・ごみの行き先は、複数のパターンがあれば複数書いて良い。

いくつに分ける？どう分ける？

●地域のごみイラストの作り方。

- ①地域のごみ分別表を用意する。
- ②ごみのイラストを切り取る。
- ③切り取ったイラストを紙やマグネットなどに貼り付ける。



※色分けされているものが多いので、絵だけうまく切り取ってあとで名前をつけると良い。

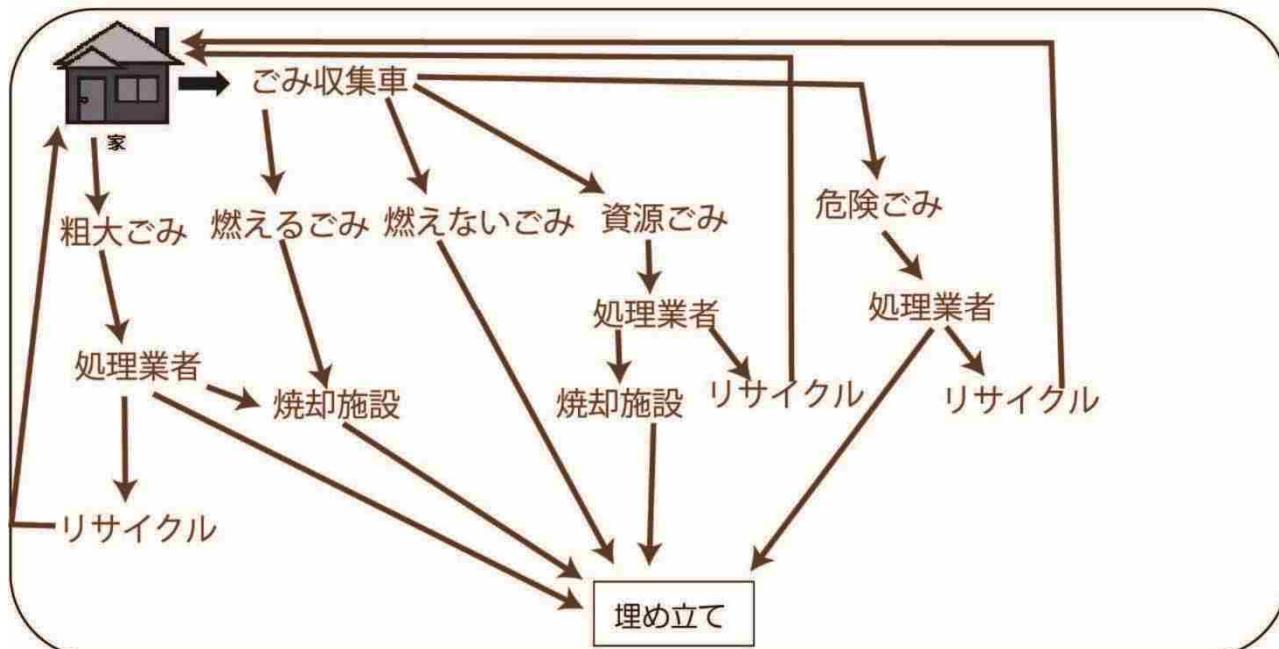
●配られたごみイラストを使って、ごみを分別してみよう。

●イラストをいくつに分けた？ 5 種類に分けた。

●どのような基準で分けた？

- ・もえるごみ、もえないごみ、資源になるごみ、粗大ごみ、危険ごみの 5 種類に分けた。
- ・もえるごみ、もえないごみ、缶、ペットボトル、古紙、資源ごみ、プラスチック、粗大ごみ、リサイクルする家電、危険ごみの 10 種類に分けた。

●家から出るごみのゆくえを考えてみよう。

ご
み

講師用資料②

ワークシート②回答例

＜ポイント＞

- ・埋め立て施設の説明をするときには、ごみ処分のニュースとともに話をするといい。
- ・講師はごみの分別に対してプラスの意見、マイナスの意見の両方が出てくることを想定する。

振り返り

ご
み

なぜ、ごみを分別すると思いますか？

- ・ごみを分別すると、ごみから資源となるものを分けることができるので、最終的に埋め立てられるごみの量を減らすことができる。
- ・分別されたごみが資源になっているかどうか疑問がある。プラスチックは私の住んでいるところでは分別しているが、燃えるごみと一緒に燃やした方が良いという話を聞いたことがある。

ごみの問題に対して、私たちにできることは何がありますか？

- ・ごみを出す量を減らすため、これからはごみが資源になるかどうかを考えて分別をしたいと思う。

埋め立て施設はあと何年もつ？

2016年度末の時点で、県内の埋め立て施設の残余年数は22.7年となっている。石垣市の7.5年、北大東村の5.9年など、数年後には、埋め立て施設が足りなくなると推測される市町村もある。